



©Nobuhiro Nakanishi, Courtesy of Yumiko Chiba Associates

# Resonance

中西信洋

会期： 2017年9月30日（土） - 10月28日（土）  
会場： Yumiko Chiba Associates viewing room shinjuku  
〒160-0023 東京都新宿区西新宿 4-32-6 パークグレース新宿 #206  
営業時間：12:00-19:00 定休日：日、月、祝日

オープニングレセプション： 9月30日（土） 18:00 - 20:00

2017年9月30日（土）より、Yumiko Chiba Associates viewing room shinjukuにて、中西信洋の個展「Resonance」を開催いたします。

中西信洋は大学で彫刻を学びましたが、卒業後は、木、石、土、金属などを素材として人体や物の像を立体的に表す、彫刻と呼ばれてきた行為から離れ、また彫刻にまつわる重量や重力、素材の物質性からも離れて、これまで制作を続けてきました。実在と不在、物質と非物質、可視と不可視といった両極を往来しながら、意識や思考、記憶や時間といった、視覚ではとらえることのできない感覚や概念をイメージによって空間の中に現出させる表現は、私たちに不思議な体験へと導きます。

弊廊で3回目となる今回の個展では、中西の概念と手法を最も表現した代表的なシリーズ「Layer Drawing」と「Stripe Drawing」に改めて焦点をあて、その独自のアプローチを紹介します。

「Layer Drawing」は、ありふれた風景のなかで刻々と変化していく時間の経過を立体的な彫刻として眺めるものです。ギャラリーの空間いっぱいに展開される作品の周囲を歩くことで、見るものは自らの身体の意識を



空間的・時間的な次元へと拡張させ、自身の視線と身体の動きを通じて、重なるフィルムの隙間にとどまることのない時間の流れを体験するでしょう。また、同時に展示される鏡面に描きだされた「Stripe Drawing」は、描かれた線の向こう側に続きながら、空間に広がる Layer Drawing と見るもの自身を内包し、その薄い境界のこちら側と向こう側、あるいは虚と実が共鳴<resonance>しつづける世界を、展示空間に作り出します。

## ■作家ステートメント

*Layer Drawing* シリーズは、写真の集積により時間の概念を空間へと広げた彫刻作品である。  
*Stripe Drawing mirror* シリーズは鏡に線を彫り込むという行為の集積により図と余白とを循環させたドローイング作品である。

今回の展示はこれらの作品を並列し、互いに映し合うことで身体や視線の移動を通じて時間と空間とが交差する場を体験しようとするものである。

2017年8月  
中西 信洋

## ■オープニングレセプション

日時：9月30日(土) 18:00 - 20:00

会場：Yumiko Chiba Associates viewing room shinjuku

## ■ 同時開催 「Whiteout」

H.P.FRANCE WINDOW GALLERY MARUNOUCHIにて、中西信洋の個展を開催いたします。

2017年10月13日(金)～10月31日(火)

H.P.FRANCE WINDOW GALLERY MARUNOUCHI

〒100-6301 東京都千代田区丸の内2-4-1 丸の内ビルディング1F H.P.FRANCE BIJOUX 丸の内

Open : 11:00 - 21:00 (Weekdays&Saturdays)

11:00 - 20:00 (Sundays & Holidays)

協力 hpgrp GALLERY TOKYO



■作家プロフィール

中西信洋(なかにし のぶひろ)

1976 福岡県生まれ

1999 東京造形大学造形学部美術学科 II 類(彫刻専攻)卒業

2002 京都市立芸術大学大学院美術研究科彫刻専攻修了

[主な個展]

- 2015 「Memory of smoke」 Yumiko Chiba Associates (東京)  
「Vanishment」 Mizuho Oshiro ギャラリー (鹿児島)
- 2014 「RETICULATED TIME」 Kashya Hildebrand Gallery (ロンドン/ イギリス)
- 2013 「みえるものとみえないもの」 Yumiko Chiba Associates (東京)  
「Layered landscape」 JOYCE GALLERY BEIJING (北京/中国)
- 2012 「Breath of light」 GALERIE KASHYA HILDEBRAND (チューリッヒ/スイス)
- 2011 「透過する風景 -Transparent view-」 国際芸術センター青森 (青森)
- 2010 「Interference」 ギャラリーノマル (大阪)
- 2006 「Saturation」 大阪府立現代美術センター (大阪)
- 2005 「満ち溢れているものへ」 INAX GALLERY 2 (東京)

[主なグループ展]

- 2016-17 「Islamic Arts Festival 19th Session - "Bunyan"」 Sharjah Art Museum (シャールジャ/アラブ首長国連邦)
- 2016 「大地に立って/空を見上げて-風景のなかの現代作家」 群馬県立館林美術館 (群馬)
- 2015 「ACT Festival 2015 Tektonics」 Asia Culture Center (光州/韓国)
- 2014 「プリントって何?一境界を超えて」 市原湖畔美術館 (千葉)
- 2013 「北九州を巡るアート展 Vol.5」 北九州市立美術館本館市民ギャラリーアネックス (福岡)
- 2012 「みえるもの/みえないもの」 豊田市美術館 (愛知)
- 2011 「見えない都市 - 地名の解剖学」 Operation table (福岡)
- 2010 「知覚の扉 I」 豊田市立美術館 (愛知)
- 2009 「田中恒子コレクション展 自宅から美術館へ」 和歌山県立近代美術館 (和歌山)
- 2009 「コレクション/コネクション -福岡市美術館の30年, Layer Movies」 福岡市美術館 2階ロビー (福岡)
- 2009 「武蔵野美術大学 80周年記念展『変成態-リアルな現代の物質性』 vol.2.  
富井大裕×中西信洋『揺れ動く物性』」 ギャラリーαM (東京)
- 2007 「アートイニシアティヴ・プロジェクト, vol.1『Exhibition as media (メディアとしての展覧会)』」  
神戸アートビレッジセンター (兵庫)
- 2007 「六本木クロッシング 2007:未来への脈動」 森美術館 (東京)

[パブリック・コレクション]

森美術館 (東京)、和歌山県立近代美術館 (和歌山)、豊田市美術館 (愛知)

【本展に関するお問合せ】

ぜひ貴社にて御紹介くださいますようお願い申し上げます。画像データの御依頼等は下記までご連絡下さい。  
ユミコチバアソシエイツ 担当: 宮中由紀  
オフィス: 〒160-0023 東京都新宿区西新宿 4-32-6 パークグレース新宿 #316 [Tel] 03-6276-6731  
[e-mail] [info@ycassociates.co.jp](mailto:info@ycassociates.co.jp) [website] [www.ycassociates.co.jp](http://www.ycassociates.co.jp)  
[営業時間] 12:00-19:00 [定休日] 日・月・祝日